

飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改訂について

計画対象期間を平成 24 年度～平成 28 年度とする飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を次のとおり改訂します。

1 現行基本計画の改訂理由

現行基本計画の計画対象期間が平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日となっているため、平成 29 年 4 月 1 日を始期とする新しい基本計画の策定を進めてきましたが、当初、平成 29 年 12 月 1 日としていた燃やすごみの焼却処理施設の移行に伴うごみの分別内容等の変更時期が、施設の試運転の開始に合わせて平成 29 年 9 月 1 日に早まりました。

このことを受けて、ごみの分別内容の変更が、市民にわかりやすく、混乱等を最小限に留める手法とタイミングで行われることを最優先する中で、新しい基本計画の策定時期を再検討した結果、燃やすごみの焼却処理施設の移行に伴うごみの分別内容の変更を行う平成 29 年 9 月に合わせて、新しい基本計画をスタートさせることが最善であると判断しました。

これにより、現行基本計画の計画対象期間を平成 29 年 8 月まで延長し、平成 29 年 8 月までは現行基本計画に基づいてごみ処理を行うこととしました。

2 当該基本計画の改訂時期

平成 29 年 4 月 1 日

3 当該基本計画の改訂事項及びその内容

(1) 計画対象期間

○平成 29 年 4 月～平成 29 年 8 月までの 5 ヶ月間を延長し、計画対象期間平成 24 年度～平成 29 年 8 月 31 日までの 5 年 5 ヶ月間とします。

(改訂前は平成 24 年度～平成 28 年度までの 5 年間)

(2) 計画目標年度

○平成 29 年度（平成 29 年 4 月～8 月）とします。（改訂前は平成 28 年度）

(3) 計画の目標値

○平成 29 年度（平成 29 年 4 月～8 月）とします。（改訂前は平成 28 年度）

項 目	単 位	実績値 (平成 22 年度)	目標値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 29 年度 4 月～8 月)
人 口	人	107,830	102,000	102,000
家庭系ごみ排出量	t / 年	23,761	21,530	8,971
事業系ごみ排出量	t / 年	5,399	5,416	2,257
総排出量	t / 年	29,160	26,946	11,228

家庭系ごみ計画収集量 +直接搬入量	t/年	22,578	20,562	8,568
家庭系ごみ排出原単位	g/人・日	604	578	578
事業系ごみ排出原単位	g/人・日	137	145	145
総ごみ排出原単位	g/人・日	741	724	724
資源化量	t/年	9,684	8,789	3,662
リサイクル率	%	33.2	32.6	32.6
家庭系ごみリサイクル率*	%	34.9	35.2	35.2
直接焼却量	t/年	17,868	16,809	7,004
最終処分量	t/年	2,730	2,407	1,003

※：家庭系資源ごみ収集量÷(家庭系ごみ計画収集量+直接搬入量)×100

(4) 事業別目標値

○ごみ処理基本計画として、施策の方向性及び事業の概要に基づいて示している具体的な取組みのうち、平成 28 年度の目標値を設定している取組みについては、計画対象期間の延長に伴い、新たに平成 29 年 4 月～平成 29 年 8 月までの 5 ヶ月間分の目標値を設定します。

1) リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）の推進

① 家庭から排出されるごみの減量化の推進

ア 家庭から排出される生ごみの減量

家庭から出る生ごみについて、市民自らが堆肥化その他の減量対策（自家処理）をすることを促進するため、生ごみ処理機器の購入費に対する補助を継続して行います。

目標とする項目	平成 22 年度 実績	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 4 月～8 月 の目標値
生ごみ処理機器の普及率 (A)÷(B)	18.5 %	21.1 %	21.2 %
生ごみ処理機器購入申請件数累計 (A)	6,634 件	7,508 件	7,541 件
世帯数(生ごみ分別収集参加町内を除く) (B)※1	35,949 世帯	35,599 世帯	35,599 世帯

※1 世帯数は各年度の 4 月 1 日現在

※平成 29 年 4 月～8 月までの目標値は、平成 27 年度実績値の 5 ヶ月分（12 分の 5）の値を平成 28 年度目標値に加算して申請件数累計としました。世帯数は人口と同様で平成 28 年度目標値とします。

2) リサイクル（再資源化）の推進

① 原材料利用としてのリサイクル

ア 家庭生ごみ分別収集の実施及び堆肥センターの管理運営

旧市内の一部地域において、家庭から排出される生ごみを分別収集し、畜産農家から排出される家畜ふん尿、苜農家から排出される廃培地などとともに飯田市堆肥センターで堆肥化します。飯田市堆肥センターの運営は、事業に参画する農家と J A、飯田市が出資した「有限

会社「いいだ有機」に委託します。また、生ごみの分別の徹底を図るため、飯田市堆肥センターの見学会を実施します。

目 標 と す る 項 目	平成 22 年度 実績	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 4 月～8 月 の目標値
家庭生ごみ分別収集量	169 t/年	151 t/年	63 t/年
家庭生ごみ分別への参加世帯数 ※1	2,926 世帯	2,848 世帯	2,848 世帯 ※2

※1 世帯数は各年度の4月1日現在

※2 平成 28 年度の目標値が平成 22 年度より減少しているのは、参加世帯数が減少するとともに、生ごみ排出原単位が減少すると推計したため。

※平成 29 年4月～8月までの目標値は、平成 28 年度目標値の5ヶ月分（12分の5）の値とした。世帯数は人口と同様で平成 28 年度目標値とします。

3) 適正な処理の推進

① 不法投棄対策の推進

ア 不法投棄者への厳正な対処

意図的、計画的に行われたと考えられる不法投棄について、警察、県等の行政機関と連携し、現行法令により厳正に対処します。

目 標 と す る 項 目	平成 22 年度 実績	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 4 月～8 月 の目標値
不法投棄発見通報件数	222 件/年	160 件/年	67 件/年
不法投棄された廃棄物の量	6,976 kg	6,300 kg ※1	2,625 kg

※1 平成 19 年度から 22 年度までの各年度の 1 件あたりの不法投棄された廃棄物の量の平均値に、平成 28 年度の不法投棄発見通報件数目標値を乗じたもの。

※平成 29 年4月～8月までの目標値は、平成 28 年度目標値の5ヶ月分（12分の5）の値としました。

② 死亡獣畜の回収

ア 死亡獣畜の回収

道路上及び公共の場の環境衛生を保持するために、業者委託により死亡獣畜を回収します。

目 標 と す る 項 目	平成 22 年度 実績	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 4 月～8 月 の目標値
死亡獣畜として回収された動物数	605 件	610 件	254 件
死亡獣畜回収数/死亡獣畜通報の数	100 %	100 %	100 %

※平成 29 年4月～8月までの目標値は、平成 28 年度目標値の5ヶ月分（12分の5）の値

としました。

4) 処理施設の適正管理と整備への協力

① 最終処分場の適正な管理

ア グリーンバレー千代の排水の定期的な検査及び安全な管理の実施

南信州広域連合の桐林クリーンセンターで発生する残渣については、今後も、処理量に応じた量をグリーンバレー千代で埋立処分していきます。

また、「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」（昭和52年3月14日総理府令・厚生省令1号）に定められる技術上の基準（BODの計画流入水質：250mg/l・放流水質60mg/l）に基づき、グリーンバレー千代を適切に管理していきます。

目 標 と す る 項 目	平成 22 年度 実績	平成 28 年度 目標値	平成 29 年度 4 月～8 月 の目標値
年間埋立容量（総埋立廃棄物量＋総覆土量）	4,972 m ³	4,525 m ³	1,885 m ³
埋立総容量（総埋立廃棄物量＋総覆土量） の累計	14,224 m ³	45,544 m ³	47,429 m ³

※平成 29 年 4 月～8 月までの目標値は、平成 28 年度目標値の5ヶ月分（12 分の5）の値としました。

資料編 「表 3-15 人口及びごみ排出量の推移と将来予測」

飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の人口及び目標値

項目	単位	実績値	推計値							備考
		平成 22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 4月～8月	
人口	人	107,830	106,855	105,884	104,913	103,942	102,971	102,000	102,000	第2次基本構想基本計画の計画人口(平成28年度) ^{※1}
総排出量	t/年	29,160	28,887	28,499	28,015	27,653	27,338	26,946	11,228	
家庭系ごみ排出原単位	g/人・日	604	600	596	589	586	583	578	578	
計画収集量	g/人・日	551	547	544	539	537	534	531	531	
燃やすごみ	g/人・日	301	300	298	295	293	291	290	290	ハイター-曲線式による推計 ^{※2}
埋立ごみ	g/人・日	50	49	49	48	48	48	47	47	ハイター-曲線式による推計 ^{※2}
資源ごみ	g/人・日	200	198	197	196	196	195	194	194	
直接搬入量	g/人・日	22	25	24	23	22	22	21	21	
燃やすごみ	g/人・日	16	16	16	16	16	16	16	16	ハイター-曲線式による推計 ^{※2}
埋立ごみ	g/人・日	6	9	8	7	6	6	5	5	ハイター-曲線式による推計 ^{※2}
集団回収量	g/人・日	30	28	28	27	27	27	26	26	ハイター-曲線式による推計 ^{※2}
家庭系ごみ排出量	t/年	23,761	23,403	23,032	22,563	22,214	21,911	21,530	8,971	
計画収集量	t/年	21,700	21,336	21,023	20,648	20,355	20,069	19,780	8,242	
燃やすごみ	t/年	11,837	11,701	11,517	11,297	11,116	10,937	10,797	4,499	
埋立ごみ	t/年	1,987	1,911	1,894	1,838	1,821	1,804	1,750	729	
資源ごみ	t/年	7,876	7,724	7,612	7,513	7,418	7,328	7,233	3,014	
紙資源	t/年	4,995	4,938	4,873	4,817	4,758	4,702	4,646	1,936	ハイター-曲線式による原単位からの推計 ^{※2}
金属資源	t/年	615	601	580	559	543	530	514	214	ハイター-曲線式による原単位からの推計 ^{※2}
ガラスびん	t/年	452	441	433	429	421	417	410	171	ハイター-曲線式による原単位からの推計 ^{※2}
ペットボトル	t/年	90	90	89	84	83	83	82	34	ハイター-曲線式による原単位からの推計 ^{※2}
プラ資源	t/年	1,542	1,474	1,461	1,451	1,442	1,428	1,415	590	ハイター-曲線式による原単位からの推計 ^{※2}
その他	t/年	13	16	15	15	15	15	15	6	ハイター-曲線式による原単位からの推計 ^{※2}
生ごみ	t/年	169	164	161	158	156	153	151	63	家庭系の可燃ごみの1.4%
直接搬入量	t/年	878	975	927	881	835	827	782	326	
燃やすごみ	t/年	632	624	618	613	607	601	596	248	
埋立ごみ	t/年	246	351	309	268	228	226	186	78	
集団回収量	t/年	1,183	1,092	1,082	1,034	1,024	1,015	968	403	
事業系ごみ排出量	t/年	5,399	5,484	5,467	5,452	5,439	5,427	5,416	2,257	対数式による推計 ^{※2}
自家処理量	t/年	654	648	642	636	630	625	619	258	
中間処理量	t/年	18,037	17,973	17,763	17,520	17,318	17,118	16,960	7,067	
焼却処理量	t/年	17,868	17,809	17,602	17,362	17,162	16,965	16,809	7,004	家庭系の可燃ごみと直接搬入可燃ごみ、事業系の合計
堆肥化量	t/年	169	164	161	158	156	153	151	63	家庭系の可燃ごみの1.4%
最終処分量	t/年	2,730	2,761	2,696	2,592	2,530	2,505	2,407	1,003	家庭系の可燃ごみと直接搬入可燃ごみ、焼却処理量の2%
処理後再生利用量	t/年	794	787	777	766	757	747	739	308	堆肥化量と、焼却処理量の3.5%
うちスラグ	t/年	581	579	572	564	558	551	546	228	焼却処理量の3.25%
家庭系ごみ計画収集量+直接搬入量	t/年	22,578	22,311	21,950	21,529	21,190	20,896	20,562	8,568	
資源化量	t/年	9,684	9,439	9,310	9,155	9,043	8,937	8,789	3,662	
リサイクル率	%	33.2	32.7	32.7	32.7	32.7	32.7	32.6	32.6	
家庭系ごみリサイクル率 ^{※3}	%	34.9	34.6	34.7	34.9	35.0	35.1	35.2	35.2	

※1：平成22年度の国勢調査結果を基準とするコーホート要因法による推計値101,145人に、政策的な増加数855人を加えたもので、平成23年度から27年度は直線補間で算定。

※2：備考欄に示す予測式は平成18年度から22年度の過去5年間の実績値の傾向に基づくもの。

※3：家庭系ごみリサイクル率=家庭系資源ごみ収集量÷(家庭系ごみ計画収集量+直接搬入量)×100

◆平成29年4月～8月までの人口については、平成28年度の計画人口の数値。

◆平成29年4月～8月までの目標値は、平成28年度目標値の5ヶ月分（12分の5）の値。